

令和6年度 11月号



# ふようだより

台東区立富士幼稚園  
園長 足立 祐子  
台東区浅草 4-48-18  
電話 3874-2460  
fuji-yo@city.taito.tokyo.jp



## 「伝わっていく」こと

園長 足立 祐子

日増しに日没の時刻が早まり、秋の深まりを感じる季節となりました。

先月行いました運動会では、一人一人の幼児が生き生きと各種目に取り組み、日常の生活の一端をご覧いただける良い機会になりました。応援のご家族の皆様も、気持ちよくご覧いただくために様々にご協力をいただき、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

当日は10月としては異例の気温30度ということで、健康面での心配もありましたが、最後まで元気に実施できたことに安心をいたしました。終了後、「みんながやらされている感じがなくて、とても楽しそうでした」「子供たちの日常の様子が見られました」「自分から挑戦しようとしている意欲が感じられました」などという、ご感想を来賓の皆様からいただきました。大変嬉しい言葉です。園児の成長の姿を確認いただけることが出来てよかったと思います。

運動会に向かう取り組みの中では、大きい組になるほど楽しいばかりではなく、大変なことや難しいことが出てきます。そのことが、どれだけ自分の意欲を伴った課題になっているかが、本気で課題に向かう力になると考えています。大人でも、必要感が感じられずにあまり楽しくないことをやらされている間は、「早く終わらないかな」「いやだな」と、なかなか取り組みに身が入らないものですね。けれども、5歳児つき組みんなの表情からは、「応援団で、大きな声を出せるように頑張りたい」「かけっこで速く走れるようになりたい」「雲梯を絶対最後まで自分の力で渡りきりたい！」「グループでの表現を成功させたい！」「リレーはチームで勝ちたい！」と、本気の頑張りが見受けられました。そして、「やったー！」という達成感や満足感の表情をたくさん見ていただけたと思います。“本気で頑張っている子供たちの空気”というものは、“本気で応援する空気”につながっていきます。年中はな組の子供たちは、つき組の姿を見て「私達もポンポンのダンスやりたい！」「僕も、一緒にリレーやってみたい！」と、目を輝かせていました。これは、『園の風土』となっていくと言われます。年長組の意欲的な姿が、やがて小さい組の幼児に受け継がれていく、ということです。保護者の皆さんの感想の中で「来年こんなことができるのかしら？と思いました」というものもありましたが、園児はその後、年長児の真似をして動いていました。受け継がれていることが必ずあるでしょう。私たち園の立場として心に沁みたのは、「成長したことが良くわかりました」「感動しました」「ご指導ありがとうございました」というたくさんの感動・感謝の言葉でした。同じ感想が多数あり、この温かい応援の言葉を受けた教職員もまた、「頑張ろう！」と意欲を燃やしています。

上の学年から下の学年へ、園から保護者や地域の皆さんへ、様々なことがしっかりと「伝わっていく」ことが、風通しの良い組織に必要であると思っています。今後も、どうぞよろしくお願いいたします。